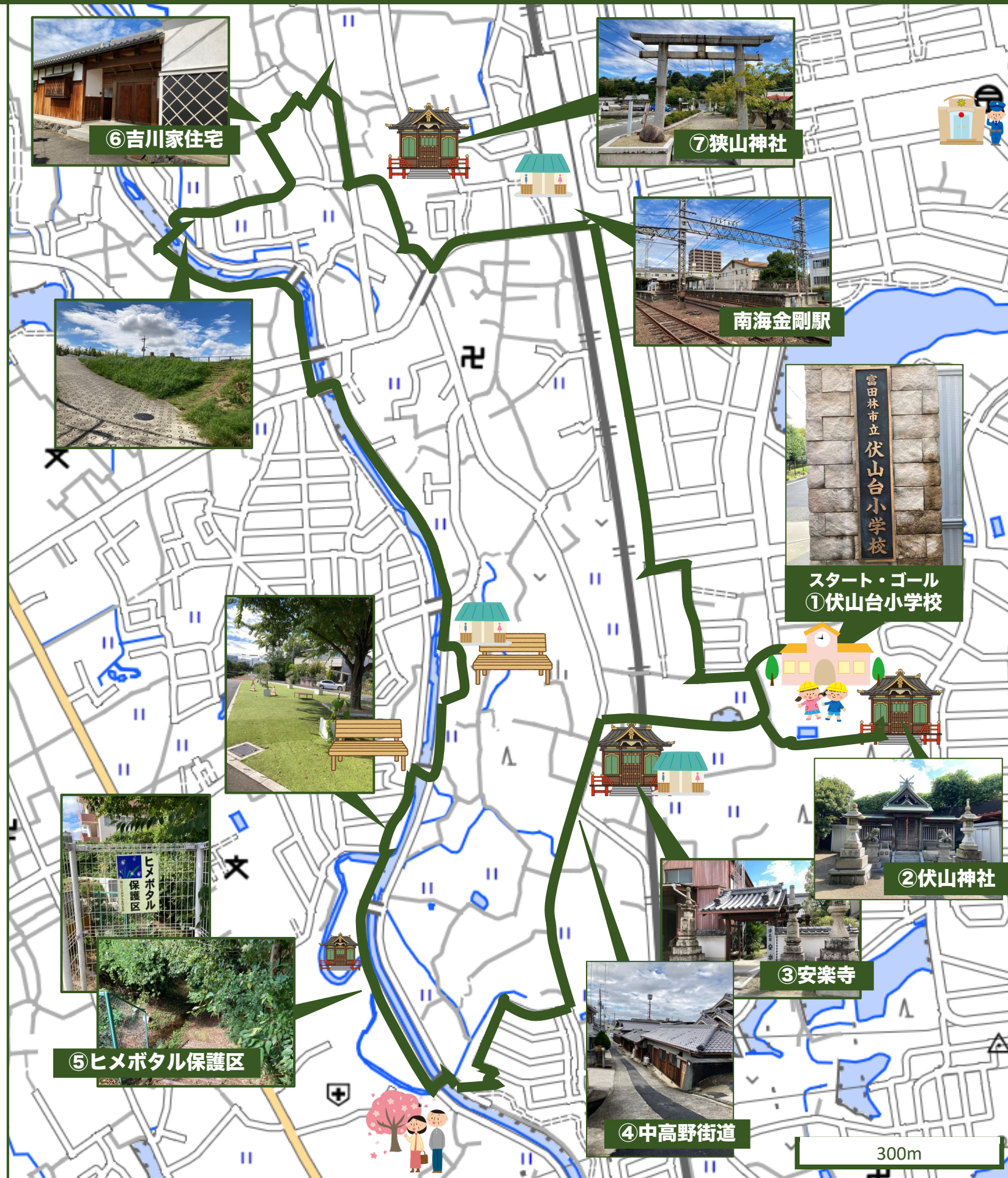


伏山台小学校からスタートし、歴史のある中高野街道の伏山を通り、桜並木のある住宅街を抜けると、西除川にでます。5月末から6月初旬にかけて、ヒメボタルを見ることもできます。川沿いを北に歩きながら川を除くと鯉や亀、カルガモ等の野鳥も見ることが出来ます。公園や大阪狭山市の文化財の「吉川家住宅」や「狭山神社」を見ながら金剛駅を通り、ゴールの伏山台小学校までのコースです。自然を感じながら、見どころ満載のコースになっています。

コース歩行距離
全長約4.5km



①伏山台小学校
伏山は、承応年間（1652～1655年）に河内野国錦部（にしごり）郡（ぐん）伏山新田として開発され、明治22年に大阪府南河内郡錦郡村大字伏山新田となり、明治43年に伏山と改称された。



②伏山神社
建速素戔嗚（たけはやすさのお）命（みこと）をご祭神とする神社。錦織神社の氏地内にあり、伏山開墾当時に創建されたと思われるが詳細は不明。伏山台小学校開校前は、小学校のプールあたりに建設されていたが開校に伴い現在地に移転した。

③安楽寺
阿弥陀如来を本尊とする、浄土宗のお寺。江戸時代に建立されたとされるが詳細は不明。境内の石碑に北条の名があることから、狭山藩（北条氏）と関わりがあるのかも。境内にトイレあり。

④中高野街道
起点は杭全神社西の泥堂口にあった一里塚とされる。1148年に仁和寺宮覚法親王が高野山参詣の際に通ったと考えられている。

⑤ヒメボタル保護区
元来、天野川（西除川）にはヘイケボタルが生息していたが、現在は絶滅し、ヒメボタルが養殖されている。毎年5月20日頃にホタル観賞ができる。

⑥吉川家住宅
江戸時代初期の建築で、屋根は入母屋造、ひさしと座敷は本瓦葺き、納戸は原形を留めて古来の農家の形態を詳しく伝える。府の指定文化財。見学は要予約。

⑦狭山神社
半田の大宮と称し、再建された室町時代頃から江戸時代まで「牛頭天王社」とも称された大阪狭山市の古社。鮮やかな緑の森につつまれ落ち着いた雰囲気、大阪府が定めた「みどりの百選」に選ばれている。

⑥吉川家住宅



スタート・ゴール
①伏山台小学校

②伏山神社

③安楽寺

④中高野街道

⑤ヒメボタル保護区

300m